

# 書写通信

姫路工業大学  
アメリカン  
フットボール部  
OB会報

## TO OLD BLUE

# 2001 第6号 [春号]

2001年 4月 1日  
編集責任者 匠 宏之  
兵庫県相生市双葉 3-2-4

### 創部35周年記念ゲーム開催 姫路獨協大OB現役と交流戦

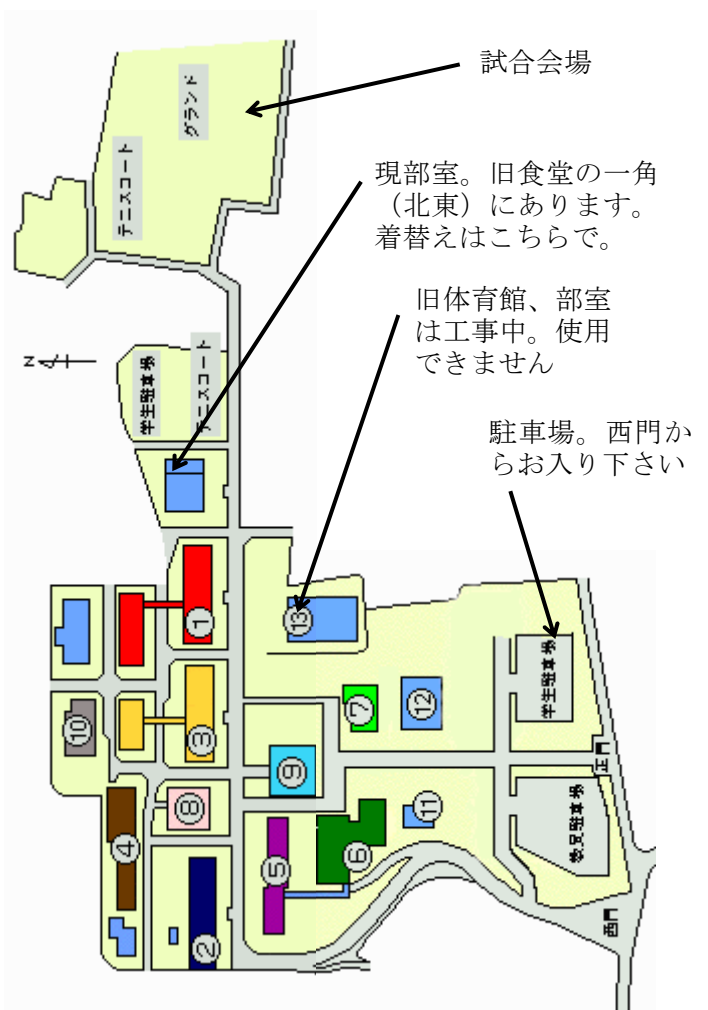
今年は1966年の創部から数えて35周年にあたります。そこで今年は例年行っているOBチーム対現役チームの交流戦ではなく他校のOB現役混成チームとブルーライナーズOB現役混成チームのゲームを行います。気になる相手ですが昭和63年より同じブロックで対戦してきた姫路獨協大学です。同じ姫路を本拠地とするチームであり過去13年間名勝負を繰り広げてきたライバル校です。近年のOBにとっては忘れることが出来ない相手ではないでしょうか。姫路獨協大学は昭和63年に当時2年生だった清水主将を中心に創部リーグに加盟を果たしました。当時2学年だけ作ったチームながら工大より人数が多く経験者もいたことから初対戦から敗退し、その悔しさから意識せざるを得ない相手として今に至っています。現役時代涙を飲んだOBの方は時間を越えたライバルとの戦いに向け体調を整えておいて下さい。かくゆう私も同期である清水君ともう一度ショルダーパッドを交えることを楽しみにしています。

このゲームですが怪我の防止と多くのOBにエンジョイしてもらうことから前半をシニアOBチーム(卒業4、5年以上のOB)、後半をヤングOBチーム(卒業後4、5年以内のOB)に分けてゲームを行います。まだまだ若い者には負けん! ヤングチームに混ざってガチンコ勝負に耐えるぞ、という方はヤングOBチームに混ざってもらっても結構です。またゲームの後は上山旅館にてブルーライナーズOB現役の親睦会も準備しております。宿泊してゲームの疲れをとっていただき、時間を忘れてゆっくり古い仲間と歓談して頂ければと思います。

**ブルーライナーズ創部35周年記念  
オール姫路工業大学VSオール姫路獨協大学交流戦**  
日時 5月5日 14時キックオフ  
場所 姫路工業大学書写グラウンド  
ブルーライナーズ親睦会 上山旅館にて18時より  
会費 13000円(含む宿泊費)  
8000円(親睦会のみ)

旅館の手配の都合上を4月13日までに欠の出欠の連絡をお願いします。本紙郵送便で御覧の方は同封の葉書にて、またeメールの方はメールの返信にて出欠を匠までお知らせ下さい。

### 5月5日の駐車場ご案内



### またもやお願いします。お宅に不要品は眠っていませんか?

昨年もご協力願いしましたが、もしご自宅に不要なテレビ、ビデオデッキ、ビデオカメラ、パソコン、プリンター等がございましたら、5月5日にお持ち願えないでしょうか。チームに役立たせていただきます。

### OB会会計報告

5月5日懇親会の前に2000年度OB会の会計報告を致します。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

## マネージャーのQC活動の紹介

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

昨年度から下級生が積極的にチームへの関与することと目的とし、チームにQCシステムを導入しました。企業で行っているQCサークルと同じ考えで、4年生以外の選手が各QCグループに分かれて筋力トレーニングやフィールドトレーニング(持久力、瞬発力の向上等)等をテーマに討議を行い、チーム全体の練習に反映させています。このQC活動は選手だけでなくマネージャーも参加しており、側面的な支援ながら機能しています。今回はマネージャーのQC活動を紹介します。

### ①アップ・クールダウンQC



谷美穂

堂本かおり

アップ・クールダウンQCがまず最初に取り上げたテーマは練習後のアイシングです。

なぜ必要かという次の日に疲れを残さないためと怪我の悪化(内出血やはれ)を防ぐためです。

実際やってみて難しいことはまだ練習が始まった頃はアイシングをする部員が少なかったが、1ヶ月ほど経つと疲れがたまってきたのかアイシングをする部員が増えてきました。そのため凍りの用意という面で少し苦労しています。

今まで部員やマネージャーが氷を持ってきていたので数に限りがあり、夏は氷が足りませんでした。今年は部室に冷蔵庫を設置したので平日のアイシングもでき、夏も以前のように困ることは無くなると思います。早い時期から予防できることはして、シーズン中に疲れをためないようにしていけるように呼びかけます。

### ②食事・サプリメントQC



中尾梨紗

井上郁江

上藤由貴

食事・サプリメントQCは栄養面から選手のコンディショニングを管理するQCグループです。

今までは選手の体を作る基本となるものでありながら私たちが細かくチェックをしたこともなく、正直知識

もほとんどありませんでした。この機会を与えられたことで自分自身の知識を広げられることも大きな意味を持つと思いました。選手は筋力アップのためにウエイトトレーニングをしています。食事をとるタイミングや食事の内容によっても個人の理想の体に近づく長さは違ってくると思いました。

食事をとった時間と量を調べてそれに対してのコメントをすることで食事のとり方、実際今の状況はどうかを把握します。

実際にやってみて難しいと感じたのは自分自身でチェック表に書いてみても感じたのですが、細かい量や時間を書くことが難しいことです。回収するのにも時間を取ってしまい、毎日を細かく調べることが難しいです。自宅生と一人暮らしでは食事をとる環境が違うという問題もあります。

これから先については平日の練習が始まると運営していくのが難しいので検討中です。春休みの分だけでもしっかり行って一人一人が食事を取る上での意識を変えられたらと思っています。

### ②医療QC



牛尾友美

浜田香

向後直美

医療QCは選手のメディカルチェック、応急救護、リハビリを担当しています。

アメフトは激しいコンタクトスポーツのため怪我をする機会も多く重要な役割を担っていると思います。怪我をした時にもっとも必要なのは受傷後の処置です。マネージャーが応急救護の知識を持ち、部員もその意図を知っていればスムーズに対応することが出来ます。また人数の少ないチームなので1人でも抜けてしまうと大変です。日々のメディカルチェックや怪我のリハビリについてもうまく活用できれば怪我も慢性化するのを防ぐことが出来ます。

実際やってみて難しかったことは本で調べても本によって書いてあることが違うことです。どれが一番適するか判断はすごく難しいことです。

また、怪我といってもたくさんあるため全ての場面に対応したいと考えても情報を集めるのは大変です。

今後どんな風に発展させたいかという本格的な練習が始まり、疲労も増してくるこれからの怪我の増える時期です。日々のメディカルチェックでの早期発見が出来ればと思います。また様々な怪我にも対応できるように勉強したいと思います。

## 新入部員勧誘あの手この手

昨年の新入部員は3名であり、しかも現在2年生として残留した部員は1名と、リクルート活動の難しさを痛感した年でした。近年学部が増えたことから部員数も増え、選手総数が30名を越える年が何度ありましたが、気がつけば今年の春の時点で選手数17人、今年もリクルートに失敗すれば秋の公式戦参加が危ぶまれます。(20名以下だとオープン戦扱いになる可能性があります)

前号の編集後記でも書きましたが少子化の影響もさることながら、新入学生の質が変化しており今までの勧誘活動ではうまく行かないことが考えられます。

このような状況下で行った昨年の勧誘の反省点は「狙いをつけた一部の1年生を執拗に深追いしすぎて逆に本人に逃げられた」、「特定の人に集中したため他の1年生に声を掛ける回数が減ってしまった」、「いろいろなイベントを行ったが目的を明確にしていなかったため労力の割に効果が得られなかった」等が上げられます。そのため今年は「特定の学生に集中せず多くの学生に声を掛ける」、「深追いしすぎて相手に負担(重荷)を感じさせない」、「各イベントの目的意識を明確にする」に注意して2001年度の勧誘活動をスタートさせました。以下に活動内容の一部を紹介します。

### ①推薦入試合格者にダイレクトメール

チームの存在をアピールするという目的で、一足早く秋に合格発表が行われた推薦入試の合格者にブルーライナーズの名でダイレクトメールを送付しました

### ②一般入試合格発表時の記念撮影

例年合格発表時はチームのアピールのためヘルメットとショルダーパッドをつけたフルスタイルで合格者を胴上げが恒例でしたが、今年は更に合格者の事前情報を入手するという目的で、合格者の番号が掲示されている掲示板の前で部員達と記念の写真撮影を行い、写真を送る名目で合格者の名前、住所、電話番号を聞きだしリクルートリストを事前に作成しました。また胴上げの様子は翌日の朝日新聞の地域ページに大きな写真で紹介され同時にアピールもできました。

### ③下宿回り再強化

なんといっても勧誘の王道は下宿回りです。しかし近年下宿や学生アパートに住む学生はまれでワンルームマンションに住む学生が飛躍的に多くなっています。ワンルームマンションでは入居している学生同士の接触が少ないためどのマンションに新入生が入ってきたか不明であり、また下宿のように食堂や風呂場で自然と会話するチャンスがありません。そのため下宿回りは必ずしも効果が高い方法とは考えられなくなりました。しかし新入生にゆっくり話を聞いてもらえるのは下宿回りしか無いとの考えに立ち返り、日数、

人員を多く割り多くの下宿を回ります。

以上の活動がどのような結果に至るかをぜひOB戦の時にご確認下さい。

@ e @ e @ e @ e @ e @ e @ e @ e @ e @ e @

2つのホームページがリニューアルです

@ e @ e @ e @ e @ e @ e @ e @ e @ e @ e @

前号でもお知らせしましたが、ブルーライナーズのホームページを一新しました。今まで川原崎さんのご協力で見守って頂き管理もお願いしていましたが、タイムリーな更新と新入部員予備軍である高校生に存在をアピールするため大学のホームページ内に移管しました。作成・管理は選手に自由に任せております。一時掲示板の内容が低俗な身内ネタがつづき見苦しい状態になっておりご迷惑をおかけしました。現在それらは一掃しリニューアルしています。OBのみなさんのメッセージをお待ちしております。

<http://www.hept.himeji-tech.ac.jp/~hb98e093/>

また川原崎さんが作成したホームページも健在です。こちらは更にノスタルジックに浸れる内容となっています。OBのみなさん、あの頃の思い出を語り合ひましょう。こちらよろしくお願い致します。

<http://www.geocities.co.jp/Athlete-parta/3018/index.html>

本紙郵送版で御覧のOBの方でeメールド\*以新しく入手された方 htakumi@d2.dion.ne.jp の匠までメール下さい。

## ブルーライナーズ春季予定

2001年春季シーズンの予定は以下の通りです。今年は練習試合より対外スクリーメージを増やしてプレーの完成度を高めることを目的としています。下記以外にもスクリーメージを申し入れ折衝中のチームがあります。また長らく出場していなかった春のトーナメント西日本選手権に今年は出場します。17人のチームですが初戦突破を目指して頑張ります。

3月31日 岡山大学とスクリーメージ(岡大G)

4月7日 大阪工業大学戦(西宮球技場)

西日本選手権のトーナメントにつき、もし勝てば…

2回戦 4月30日 関西外国語大学戦(西宮球技場)

3回戦 5月12日 大阪大学戦(西宮球技場)

4月22日 大阪経済法科大学とスクリーメージ

7月8日(日付変更あり)大阪大学戦(阪大G)

OBのみなさんの応援よろしくお願い致します。

今月は服部さんの紹介で福岡雅彦さんの登場です。奥様との馴れ初めに注目。元祖マネージャーのような存在…



服部君、久しぶりですね。

年賀状のやり取りだけが続くようになってからでも、何年たったのかが分からなくなるくらい、時が過ぎてしまいました。でも、書写通信で元気そうな写真を拝見させて頂き、それがあまりにも老けていて、びっくりしました。でもきつと、私(と、女房)の写真をみて同じような印象を持つのだろうなと思い、(一人で)ガッカリ。

さて、OB、現役の皆さんに、私の自己紹介から始めます。私は、昭和50年機械工学科卒業(46M)の福岡雅彦です。現在48歳、今は、出身地の三重県上野市で、地元の企業に勤める、しがないサラリーマンです。

現役時代は、スピードよりもタフさを買われて、オフENS、ディフェンス共ハーフバックでした。(3年生からは、I-フォーメンションになって、テールバック)

今考えると、あまり切れの良くないバックスだったような気がします。それでも、学生時代の4年間は、勉強そっちのけで、タダひたすら、クラブと合ハイ(当時は、合コンではなく、合同ハイキング)の生活でした。(その結果、3年の合ハイでタックルされた、今の女房との腐れ縁がずっと続いています。)

学生時代を思い出しますと、入学式の日、憧れのアメカン(当時アメリカンフットボールは、こう呼ばれていました)の部室へ入部の意思を伝えに行った所、当時のキャプテンの大西さん(故人)が長いすで昼寝をしていて、”よし！いっしょにやろう”と言ってくれたのが昨日のようです。でも、なんと実は、その当時部員は、4年生が2名、3年生が2名、2年生が1名のたった5名だったのです。(幸い、私の学年は、本郷、高橋、岸本、松田、堀と私の6名入部しましたが)そのため、試合になると、ラグビー部、柔道部から、大西さんの友達が手伝いに来てくれていたという状況でした。ところが以外にも、その外人部隊が、ディフェンスでタックルを決めるため、川当さんたちOBの風当たりが強くなり、雨の日の試合の後でも、試合の終わって相手チームが帰っていったグラウンドでダッシュや、タックルの練習をして、よれよれになったことを思い出します。

また、卒業してからでも、女房と神鍋の合宿に行き熱射病で倒れた後輩の看病したり... まだ、愛知県(岡崎)に住んでいる時、後輩(多分川原崎君たち)が尋ねてきてくれてフットボールの話に花が咲いたときがあったり... 懐かしく、そして今から思えば、超楽しい(オヤジ)青春時代だった気がします。

今年、わたしの3人の子供たちは、長女が、4月に結婚。長男が、大学4年。そして次男も大学1年になり巣立っていきます。そんななかで、30歳になって始めたマラソンも、足の故障のため、今は、休日に女房と一緒にジョギングやシティーレース参加したり、最近始めたゴルフ(実は7年たちます)が、私にとって数少なくかけがえのないスポーツとなっています。近況報告も終わりに近づき、試合で、すぐカーツとなって、”はい、キャプテン仲直り”と審判から指示されたときいつも、かわりに仲直りしてくれた、あの人(本郷さん)に次の寄稿をお願いします。

編集後記

海外出張の際飛行機の中で「リメンバールタイムズ」というフットボールの映画を見ました(日本では5月に公開予定)。1960年代後半、アメリカの高校のフットボールチームタイムズが舞台です。人種差別の嵐が吹き荒れるその町では学校でも黒人と白人が激しく対立していた。フットボールチーム内も同様で、白人と黒人は完全に区別されており合宿に向かうバスも別々。そんなチームに有能な黒人コーチのブロンがヘッドコーチとして招聘される。最初は他のコーチ、選手、選手の保護者の間に動揺が走るが、ブロンが厳しい指導と勝利のために人種は問わない姿勢にだんだんチームが一つになっていく。最初は対立していた白人と黒人のラインバックカーも最後は兄弟同然の間に打ち解ける場面は3回見たが泣ける。

肌の色の違いなど勝利の前ではちっぽけなこと、そんなメッセージに耳を傾けると我がチームももつと一つになれるのではと思う。4年生中心のチーム作りが結果として、やらせる方とやらされている方に分かれてしまう。

たった17人のチーム、フィールドに入れば学年は関係ない。勝ちたい気持ち、チームを強くしたい気持ちに1年も4年もないはず。そんな意識改革を本年度主将の稲原は掲げ、一つの手段としてQCシステムで下級生に主体性を持たせようと取り組んでいます。是非タイムズのようにパーフェクトシーズンを送れるよう願う。